



この河野としのり県議作成の意見書(国への要望)が議会で決議される!!

平成25年2月22日 県議会において

河野としのり県議作成の意見書が決議され千葉県議会の総意として
政府 国土交通省(↓JR東日本)に要望される!!

JR京葉線の「平日朝の通勤時間帯の快速を全廃する」という3月に行われるダイヤ変更計画を改めることを求める意見書

昨年の12月、JR東日本千葉支社は2013年3月のダイヤ改正について、平日朝の通勤時間帯の京葉線の快速を全て各駅停車に変更すると発表した。

この変更は、快速が通過していた東京都の越中島、潮見、葛西臨海公園などは利するであろうが、千葉県の都内への通勤通学の乗降客の多い新浦安、南船橋、海浜幕張、検見川浜、稲毛海岸、千葉みなと、蘇我等は、快速から各駅停車に代わると、東京駅への到着に、現行のダイヤから見て最大11分ものおくれが生じることとなる。

これは朝の東京に向かう交通の利便性を求め快速の停まる駅の街に住居を構えた人々にとって、耐えがたい、見過ごすことができないダイヤ変更計画である。

さらに、この通勤時間帯の快速全廃計画は、まちづくりの基を壊すことであり、交通の利便性をうたい、千葉県はじめ地方自治体がつくってきたニュータウンに移り住んだ人々の信頼を裏切る行為である。

これまで、鉄道という公共交通でありながら、JR東日本の通達一つで一方向的に住民の驚愕するダイヤ改正が京葉線にはなされてきた。例えば平成14年12月には、千葉市美浜区民14万5千人の主要駅である稲毛海岸駅、検見川浜駅の列車本数が、午前10時から午後4時台までの昼間の列車本数において、平日で24%、土休日では42%も突然減らされ、週全体では89本もの本数がこの昼間の時間帯ダイヤから突然なくなった。このような極端な本数激減のダイヤ改正がなされても、いまだに状況は回復がされていない。今回、さらに朝の通勤時快速を突然全廃することは、千葉市のみならず、快速の停まる浦安市の市民にとっても耐えがたいものである。

鉄道企業の一方的経営判断一つで、ダイヤが自由に変更でき、地域住民にとって公共交通機関の利便性が著しく損なわれる現状のダイヤ変更の制度は、公共交通である鉄道としてはあってはならないことである。

よって、政府においては、朝の快速電車を全廃するという千葉県民の鉄道交通の利便性を著しく剥奪するダイヤ変更計画に対し、計画の変更を求めるとともに、これからの鉄道交通のダイヤ改正は経営者の一方的なものではなく、利用する地域の声を確実に反映する制度を設けることを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年2月22日

千葉県議会議長

内閣総理大臣

国土交通大臣

あて



この河野としのりプロフィール



昭和48年 早稲田大学理工学部卒
50年 早稲田大学大学院修士課程修了
同年 東洋エンジニアリング株式会社入社
平成7年 千葉県議会議員初当選
16年 千葉県監査委員
17年 防災対策委員
20年 党県連幹事長
23年 千葉県議会議員5期当選
現在 党県議会の議員会長

あなたのご意見をぜひ!! お寄せ下さい!!

FAX 043-211-0065

e-mail info@t-kohno.com

<http://www.t-kohno.com>



河野としのり で 検索

議会での質疑応答は、インターネットで下記のアドレスを開けばビデオを見ることが出来ます。
http://www.chiba-pref.stream.jfit.co.jp/giin_result.php?GIINID=549